



社長のための 経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第88号 平成27年10月6日（火）

発行：久保総合会計事務所
〒536-0006
大阪市城東区野江4丁目11番6号
TEL（06）6930-6388
FAX（06）6930-6389

■経営コラム

♪『もっとうまく経営をするためには！』♪
…「時間配分を変えることが最も効果的なのだ。」
（大前研一先生）

■「もっとうまく経営したい」、経営者なら誰しものが持つ願望でしょう。
「もっとうまく仕事を進めたい」、ビジネスマンなら誰しものが持つ願望でしょう。

「もっとうまく…」これらは結果を指します。結果の変化を求めるためには、その原因を変えねばなりません…多くの人たちは、原因を変えることに消極的です。結果の変化はその原因の変化の延長にあるはずですが。

『人間が変わる方法は3つしかない。ひとつ目は時間配分を変えること。ふたつ目は住む場所を変えること。3つ目は付き合う人を変えること。どれかひとつだけ選ぶとしたら、時間配分を変えることが最も効果的なのだ。』と、経営コンサルタント、経済評論家の大前研一先生はおっしゃっておられます。

■人は、総じてルーチンに生きています。

・朝起きてから就寝するまで。
・月曜日から週末まで。
・月初から月末まで。
・年初から年末まで。
勤勉な人も怠惰な人も、総じてルーチンを繰り返しています。
時間配分は総じて変わりません。

◆さらなる成長を求めるためには、「これ（時間配分）を大きく変えろ。」と大前研一先生はおっしゃっておられます。

○時間の棚卸が必要ではないでしょうか？
・一週間、狭義で40時間、広義で168時間の時間配分を練り直してみませんか？
・一か月、狭義で176時間、広義で720時間の時間配分を練り直してみませんか？
・一年間、狭義で2,000時間、広義で8,760時間の時間配分を練り直してみませんか？

我々は、いったい何にどれくらい時間を費やしているのでしょうか？優先順位の低い不要な時間もたくさんあるはずです。これらの時間を、違う何かに振り分ける…この時間配分の変更が必要です。
『時間配分を変える』という「原因」に対して、『もっとうまいく』という「結果」が伴います。

■人は、総じて限られた人達とのみ付き合っています。

「師」と「友」は、自身の力に応じて構成されます。自身の成長に応じて、その構成が変わることもあります。異次元の「師」と「友」を作ることはできません。「師」と「友」は、ある意味自分自身を投影する鏡です。

・自分の成長が著しく、「師」と「友」の成長が緩やかであれば、新しい「師」と「友」を求めることになります。
・自分の成長が「師」と「友」の成長に追いつかなければ、この「師」と「友」とは疎遠になります。
・「師」と「友」と同じスピードで成長することもあります。
・「師」と「友」共々停滞しているケースもあります。

「師」と「友」が自分に与える影響は計り知れません。

◆さらなる成長を求めるならば、「付き合う人を変えろ。」と大前研一先生はおっしゃっておられます。

「居心地の良さ」や「緩さ」のみに甘んじることなく、より厳しい環境を求めることも、時には必要です。自身に対して、敢えて「厳しく、より成長スピードの速い」「師」と「友」を、求めてみるのも一つの方法ではないでしょうか。

「厳しく、より成長スピードの速い」「師」と「友」との出会いにより、その「結果」が変わることはよくあります。

■人は変化を嫌い、ルーチンに安住しがちです。

「明日から変わろう。」と決意しても簡単には変わりません。
それは、過去から積み上げてきた時間配分や、自分を取り巻く人間関係に縛られてしまうからでしょう。
変化を求めるならば、変化できない原因である時間配分や人間関係のしがらみを断てと、大前研一先生はおっしゃっておられるでしょう。

変化に挑戦してみませんか。『もっとうまく…』のために。ご一考ください。

※銀行融資プランナー協会の正会員である当事務所は、クライアントに『お金の心配をできるだけしない経営を行ってもらう』ための新しい機能を持つことを宣言いたします。
我々は、『税理士』ではなく、『新・税理士』です。ご遠慮なくご相談ください。